

# 食品産業の国際競争力強化緊急対策事業のうち スマート食品産業実証事業

支援対象者	加工食品事業者、機械メーカー、自治体等を構成員とする事業化共同体（構成メンバーは自由）又は単独の事業者
対象品目	加工食品
支援内容類型	・国際競争力強化に向けて生産性を向上させたい

支援内容	(ハード支援) ・AI、ロボット、IoT等の先端技術のモデル実証に必要な設備導入経費又は先端技術の改良に係る経費 (ソフト支援) ・先端技術のモデル実証・改良に必要なエンジニア経費		
申請要件	・本事業の成果を、モデル的な取組として業界全体に広く横展開できること		
申請先	株式会社日本能率協会コンサルティング	公募時期	令和4年2月中下旬～5月頃 (予定)

問合せ先：農林水産省 新事業・食品産業部 食品製造課 食品企業行動室  
メール：[kigyokoudou@maff.go.jp](mailto:kigyokoudou@maff.go.jp) 電話：03-6738-6166

＜対策のポイント＞

食品産業の生産性向上により国際競争力を強化するため、AI、ロボット、IoT等を活用した食品の製造・品質管理等の自動化、リモート化技術、さらにはコロナ対策の更なる向上のための非接触型技術を実際の食品製造や飲食店等の現場にモデル的に導入、実証する取組を支援するとともに、より多くの中小企業が導入できるよう、低コスト化や小型化のための改良の取組を支援します。

＜事業目標＞

食品製造業の労働生産性の向上（平成30年比3割以上〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 生産性向上に向けた先端技術のモデル実証・改良

① モデル実証

AI、ロボット、IoT等を活用した食品の製造・品質管理等の自動化、リモート化技術、さらにはコロナ対策の更なる向上のための非接触型技術を実際の食品製造や飲食店等の現場にモデル的に導入、実証する取組を支援します。

② 改良

AI、ロボット、IoT等を活用した自動化技術等を、業界の大宗を占める多くの中小企業が導入できるよう、低コスト化や小型化に関する改良の取組を支援します。

2. 横展開に向けた情報発信

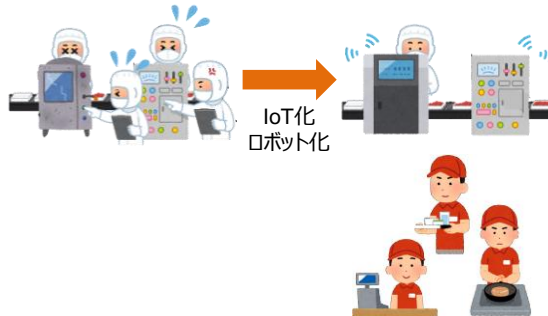
上記1の取組等の成果を食品業界全体に普及させるため、動画の作成や研修会、シンポジウムの開催等の取組を支援します。

＜事業の流れ＞



株式会社日本能率協会コンサルティングを事業運営主体として採択済み（2月下旬メド同社HP<https://jmac-foods.com/>にて1の①及び②公募開始予定）

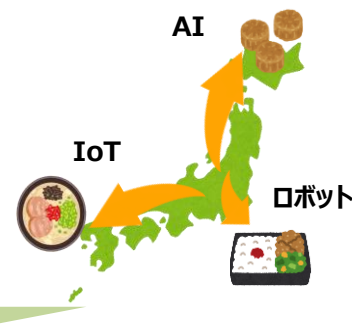
1. ①モデル実証



1. ②改良



2. 横展開に向けた情報発信



生産性向上・国際競争力の強化